

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率 月次指標の早期推計：1月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

● 2月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶ JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 3)、**2024 年 1 月の訪日外客総数(推計値)は 268 万 8,100 人**であった(前月: 273 万 4,000 人)。2019 年同月比では-0.0%と 2 カ月ぶりに小幅マイナスに転じたが、コロナ禍前とほぼ同程度となった(前月: 同+8.2%)。なお、**訪日中国人客を除いた総数では 227 万 2,200 人**で、同+17.4%と 7 カ月連続のプラスとなった。同月の**出国日本人数は 83 万 8,600 人**であった(前月: 94 万 7,900 人)。19 年同月比では-42.3%と前月(同-44.6%)から減少幅は小幅縮小したものの、依然回復ペースは緩慢である。

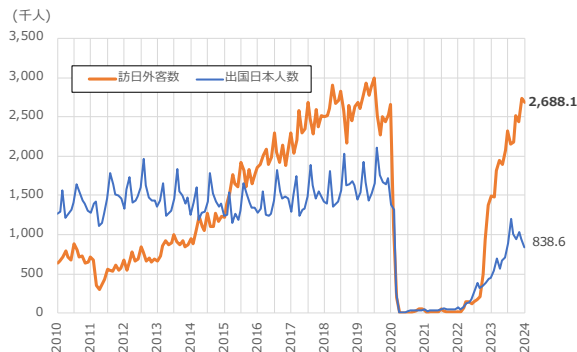
▶ 訪日外客数のトップ 5 を国・地域別にみると(表 3)、**韓国が 85 万 7,000 人**(2019 年同月比+10.0%)で**最多**であった。次いで台湾が 49 万 2,300 人(同+27.0%)、中国が 41 万 5,900 人(同-44.9%)、香港が 18 万 6,300 人(同+20.7%)、米国が 13 万 1,800 人(同+27.7%)と続く。なお、**韓国、台湾とオーストラリアが単月で過去最高を記録した**。

▶ **目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、2023 年 11 月は 244 万 890 人**となった(2019 年同月比-0.0%)(図 2 及び表 4)。うち、**観光客は 220 万 6,883 人**となり、2 カ月連続で 200 万人超の水準(同+2.9%)。商用客は 11 万 6,855 人(同-32.0%)、**その他客は 11 万 7,152 人**(同-5.6%)であった。19 年同月比では、観光客は 2 カ月連続でコロナ禍前を上回っているが、その他客は 9 割超、商用客は 7 割程度の回復にとどまっている。

▶ 観光客の TOP5 を国・地域別にみれば、11 月は**韓国が 62 万 231 人**(2019 年同月比+276.9%)と**最多**であった。次いで台湾が 39 万 623 人(同+4.2%)、中国が 20 万 4,486 人(同-69.8%)、香港が 19 万 7,019 人(同+1.1%)、米国が 16 万 9,383 人(同+36.8%)と続く。

▶ 令和 6 年能登半島地震は新潟県、富山県、石川県、福井県の観光業に大きな影響を与えている。このため、政府は当該地域で落ち込んだ観光需要を喚起するために、**3 月より「北陸応援割」を開始した**。喚起策により、**国内旅行者及び訪日旅行者の増加が期待**されている。一方で、北陸地域の国籍別宿泊者比率をみれば、全国シェアに比して日本人が圧倒的な比率を占めており、外国人のシェアは低い(図 3)。**日本人宿泊者が伸び悩む一方(後掲トピックス 2 参照)、増加傾向が続く外国人宿泊者をいかに取り込むかが重要**となろう。

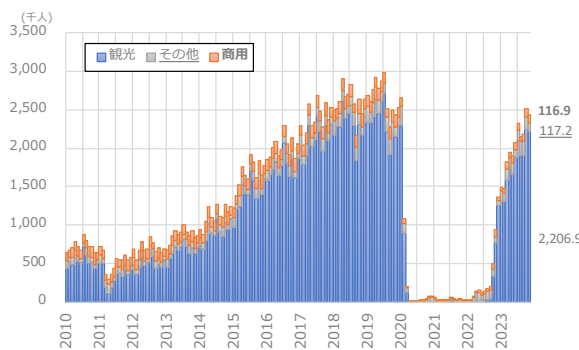
図 1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 2022 年まで確定値、23 年 1-11 月は暫定値、23 年 12 月、24 年 1 月は推計値

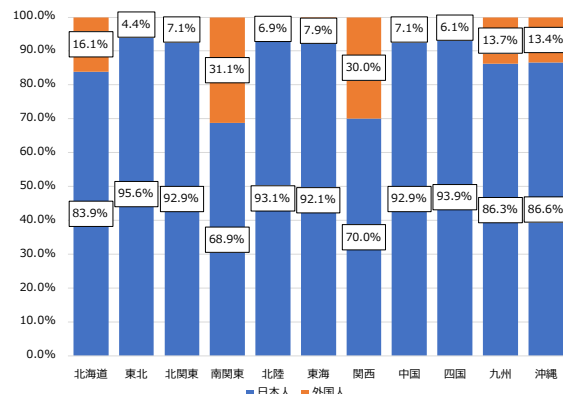
図 2 目的別訪日外客数推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公利用などが含まれる。

図 3 国籍別宿泊者比率：2019 年 1-11 月期



出所: 観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成

注) ここでの地域区分は以下の通りである。東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、北関東・甲信：茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県、北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県、東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、関西：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県、九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが 2023 年 9 月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

トピックス 1

● 1 月関西の財貨・サービス貿易及び 12 月のサービス産業動向

▶ 関西 1 月の輸出は前年同月比+6.2%と 9 カ月ぶりに増加した(図 4)。中国の春節休暇の時期のズレも影響し、前月(同-1.9%)から伸びはプラスに転じた。一方、輸入額は同-9.0%と 10 カ月連続で減少した(前月：同-11.9%)。結果、関西の貿易収支は-408 億円と 12 カ月ぶりの赤字となった(同-85.4%)。

▶ 対中貿易動向をみると(図 5)、関西 1 月の対中輸出は前年同月比+21.8%と前月(同+3.3%)から大幅加速し、2 カ月連続で増加した。輸出増に寄与したのは半導体等製造装置やプラスチック等であった。一方、対中輸入は同-10.4%と 9 カ月連続の減少(前月：同-6.6%)。輸入減に寄与したのは通信機や無機化合物等であった。

▶ 1 月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は 70 万 402 人と、2 カ月連続で 70 万人超の水準となった(前月：72 万 1,677 人)。2019 年同月比では+0.8%と 2 カ月連続のプラス(前月：同+11.9%)。インバウンド需要は堅調に推移している。日本人出国者数は 15 万 652 人であった(前月：17 万 7,085 人)。2019 年同月比では-47.7%と、前月(同-48.6%)からマイナス幅は小幅縮小したものの、依然低調が続いている。インバウンド需要に比してアウトバウンド需要の回復のペースは緩慢である。

▶ 12 月のサービス業の活動は小幅改善だが、足踏みの状態が続く。サービス業の生産活動を示す第 3 次産業活動指数(季節調整済み：2015 年平均=100)をみれば(図 7)、12 月は 100.2 で前月比+0.7%上昇し、4 カ月ぶりのプラスとなった(前月：同-1.4%)。また、対面型サービス業指数*は 95.3 となり同+5.6%上昇し、2 カ月ぶりのプラス(前月：同-7.6%)。うち、運輸業(同+6.7%、2 カ月ぶり)や飲食店、飲食サービス業(同+2.5%、4 カ月ぶり)が上昇に寄与した。10-12 月期の第 3 次産業活動指数は 100.2、前期比-1.5%低下し、4 四半期ぶりのマイナス(7-9 月期：同+0.7%)。また、対面型サービス業は 94.4、同-2.8%低下。2 四半期ぶりのマイナス(前期：同+3.7%)。

▶ 観光関連指数**(2015 年平均=100)は、90.6 と前月比+2.3%上昇し、4 カ月ぶりのプラス(前月：同-2.0%)(図 7)。年末の旅行需要増加の影響もあり、旅行業(同+36.0%、3 カ月ぶり)や宿泊業(同+7.3%、3 カ月ぶり)が上昇に寄与した。10-12 月期では 89.8、前期比-2.4%低下し、2 四半期ぶりのマイナス(7-9 月期：同+2.3%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第 3 次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図 4 関西 対世界貿易の推移

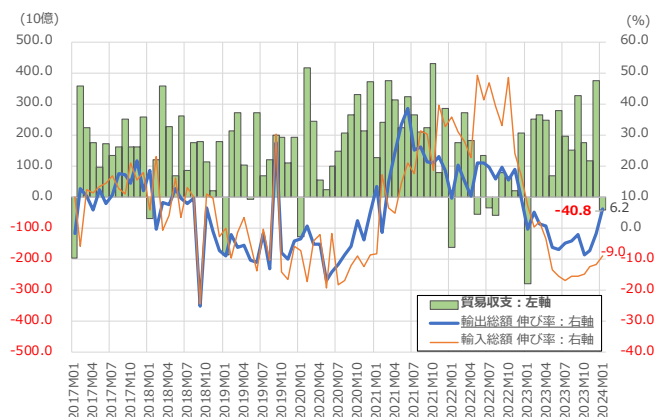
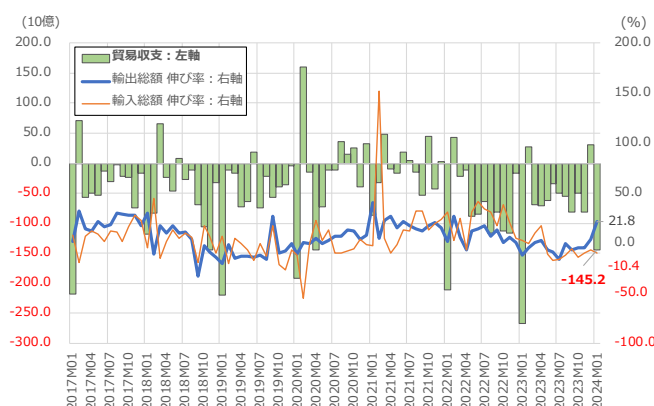
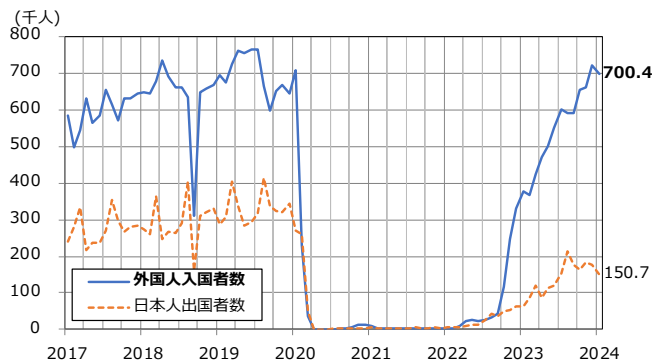


図 5 関西 対中貿易の推移



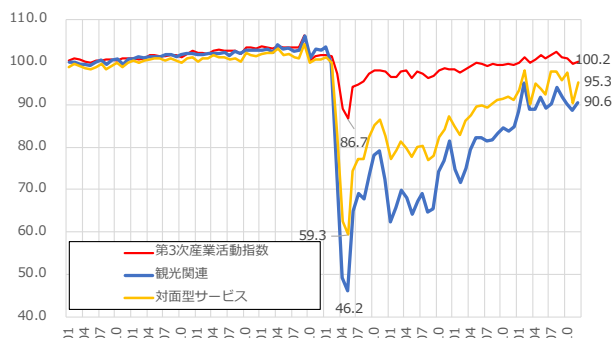
出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」より筆者作成

図 6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所：出入国管理統計より筆者作成。2024 年 1 月値は速報値

図 7 観光関連 対面型サービス 第 3 次産業：2015 年=100



出所：経済産業省「第 3 次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●11月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、11月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は11,949.3千人泊であった(表1)。2019年同月比+10.0%と3カ月連続のプラス(前月：同+10.1%)。

▶日本人延べ宿泊者数は8,124.0千人泊、2019年同月比+1.3%と3カ月連続の増加だが、前月(同+4.7%)から増加幅は縮小(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,665.7千人泊、京都府1,923.6千人泊、兵庫県1,263.2千人泊、三重県671.3千人泊、滋賀県367.4千人泊、和歌山県338.5千人泊、福井県279.8千人泊、奈良県230.6千人泊、鳥取県208.2千人泊、徳島県175.7千人泊であった。2019年同月比でみると、京都府(同+11.0%)が6カ月連続のプラス。また、大阪府(同+3.1%)、兵庫県(同+14.4%)、奈良県(同+8.7%)が、それぞれ3カ月連続でプラスとなった。

▶外国人延べ宿泊者数は3,825.3千人泊となった。2019年同月比+34.6%と4カ月連続で増加し、前月(同+23.1%)から増加幅は拡大(表1及び図9)。日本人宿泊者に比して、外国人宿泊者は着実に増加している。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,040.8千人泊、京都府1,466.2千人泊、兵庫県113.7千人泊、和歌山県73.7千人泊、奈良県39.1千人泊、滋賀県34.1千人泊、三重県22.7千人泊、徳島県17.0千人泊、鳥取県10.1千人泊、福井県8.0千人泊であった。2019年同月比でみると、大阪府(同+44.6%)、京都府(同+34.2%)はそれぞれ5カ月連続で、徳島県(同+10.9%)は3カ月連続でいずれもプラス。また、和歌山県(同+14.3%)、兵庫県(同+3.7%)がプラスに転じた。

▶関西2府8県延べ宿泊者を居住地別でみると(図10)、県内の延べ宿泊者数は1,457.8千人泊(2019年同月比+14.0%)、県外は10,108.3千人泊(同+12.6%)であった。伸びをみれば、県内は26カ月連続のプラス。また、県外は3カ月連続のプラスとなった。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

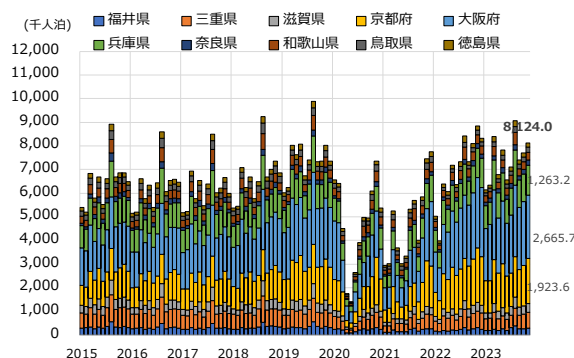


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

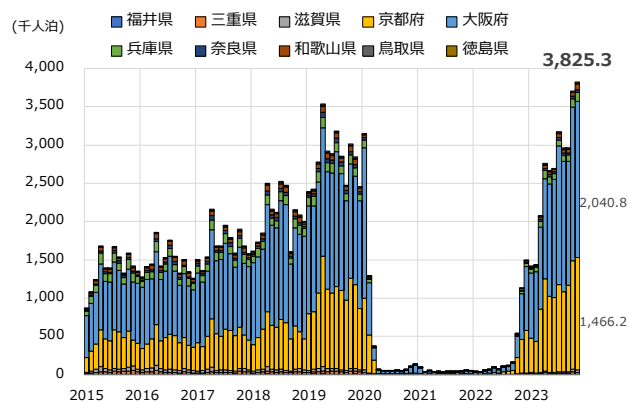
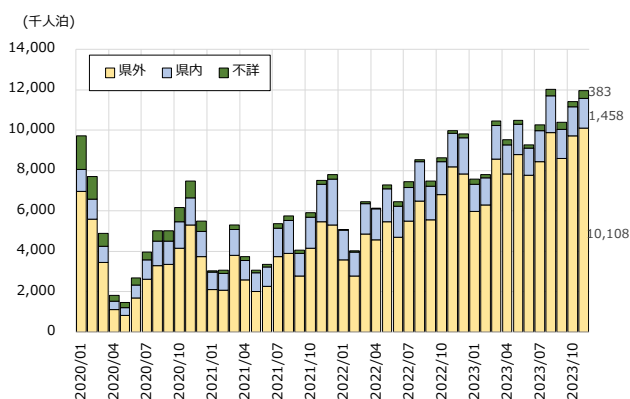


図10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：11月

2023年11月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 11月(%)	19年比伸び率： 10月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 11月(%)	19年比伸び率： 10月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 11月(%)	19年比伸び率： 10月(%)
福井県	287.9	-20.4	-11.7	279.8	-20.5	-12.3	8.0	-19.2	8.2
三重県	694.0	-6.8	-3.9	671.3	-5.5	-3.2	22.7	-34.3	-16.5
滋賀県	401.5	-10.6	-2.2	367.4	-10.0	-1.7	34.1	-16.6	-7.1
京都府	3,389.8	19.9	12.8	1,923.6	11.0	7.3	1,466.2	34.2	20.3
大阪府	4,706.5	17.7	18.4	2,665.7	3.1	9.2	2,040.8	44.6	33.7
兵庫県	1,376.9	13.4	13.5	1,263.2	14.4	15.4	113.7	3.7	-3.0
奈良県	269.8	5.2	7.3	230.6	8.7	15.5	39.1	-11.5	-26.7
和歌山県	412.1	-17.2	-12.4	338.5	-21.8	-8.6	73.7	14.3	-31.3
鳥取県	218.3	-21.4	-15.9	208.2	-19.7	-14.3	10.1	-45.3	-40.9
徳島県	192.6	-18.4	-20.5	175.7	-20.5	-23.0	17.0	10.9	20.9
関西2府4県	10,556.6	14.3	13.4	6,789.0	4.8	8.2	3,767.5	36.4	23.9
関西2府8県	11,949.3	10.0	10.1	8,124.0	1.3	4.7	3,825.3	34.6	23.1
全国	52,918.8	6.6	7.4	41,033.0	1.1	4.3	11,885.8	31.1	19.5

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8～10及び表1)

トピックス 3

●2023 年 10-12 月期国内旅行消費の動向：関西 2 府 8 県*

▶観光庁によれば、**2023 年 10-12 月期関西(2 府 8 県ベース)の国内旅行消費額(速報)**は 1 兆 1,331 億円であった(表 2)。2019 年同期比+12.4%と**3 四半期ぶりのプラス**(7-9 月期:同-1.6%)。結果、**2023 年通年では 4 兆 1,034 億円**となった(22 年:3 兆 5,052 億円)。19 年比では-0.6%と**3 年連続のマイナス**だが、**22 年(同-15.1%)から減少幅は縮小**した。COVID-19 が 5 類へ移行し、社会経済活動が正常化したこともあり、旅行需要が回復した。なお、**全国の 23 年通年は 21 兆 8,802 億円**で(19 年比-0.2%)、**政府目標である 22 兆円とほぼ水準**となった。

▶国内旅行消費額のうち、10-12 月期の**宿泊旅行消費額は 9,101 億円**で 2019 年同期比+21.2%となり、**2 四半期連続のプラス**(7-9 月期:同+5.0%)(図 13 及び表 2)。府県別に消費額を降順にみれば、大阪府 2,884 億円(同+24.1%)、京都府 1,905 億円(同+37.4%)、兵庫県 1,658 億円(同+15.7%)、和歌山県 712 億円(同+289.7%)、三重県 499 億円(同-27.0%)、福井県 477 億円(同+38.6%)、奈良県 408 億円(同+35.0%)、鳥取県 252 億円(同+5.4%)、滋賀県 170 億円(同-25.5%)、徳島県 134 億円(同-65.4%)であった。

▶国内旅行消費額のうち、10-12 月期の**日帰り旅行消費額は 2,230 億円**であった。2019 年同期比-13.1%と**7-9 月期(同-21.4%)からマイナス幅は縮小**したものの、**宿泊旅行消費額に比して回復ペースは緩慢**である(図 14 及び表 2)。府県別に消費額を降順にみれば、大阪府 605 億円(同-13.0%)、兵庫県 483 億円(同+19.3%)、三重県 320 億円(同+77.2%)、京都府 298 億円(同-50.2%)、滋賀県 202 億円(同-13.0%)、奈良県 98 億円(同-1.2%)、福井県 84 億円(同-48.2%)、徳島県 51 億円(同-32.1%)、和歌山県 48 億円(同-2.4%)、鳥取県 42 億円(同-40.4%)、であった。

図 13 関西 2 府 8 県 宿泊旅行消費額の推移

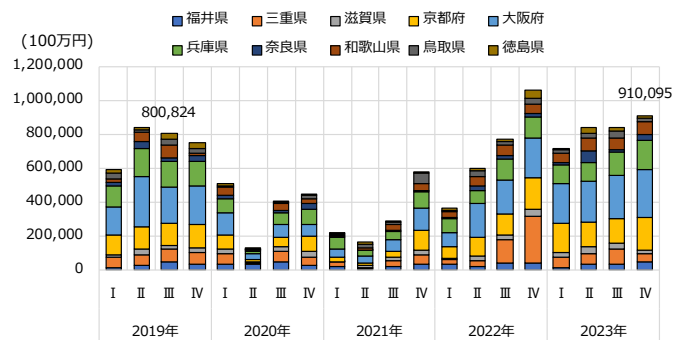
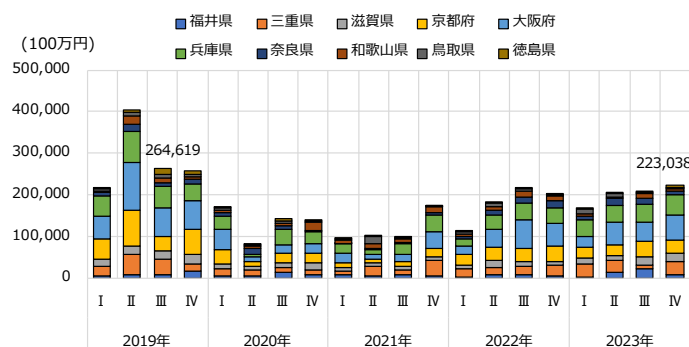


図 14 関西 2 府 8 県 日帰り旅行消費額の推移



(注) 宿泊旅行、日帰り旅行ともに、観光・レクリエーション目的以外に帰省・知人訪問等、出張・業務目的を含む。

2022 年、23 年 7-9 月期までのデータは確報。23 年 10-12 月期は速報(上図も同様)。

出所:観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表 2 関西 国内旅行消費額：2023 年 10-12 月期

	国内旅行消費額			宿泊旅行消費額			日帰り旅行消費額		
	金額: 100万円	19年比伸び率: 10-12月期(%)	19年比伸び率: 7-9月期(%)	金額: 100万円	19年比伸び率: 10-12月期(%)	19年比伸び率: 7-9月期(%)	金額: 100万円	19年比伸び率: 10-12月期(%)	19年比伸び率: 7-9月期(%)
福井県	56,107	10.9	0.8	47,740	38.6	-27.8	8,367	-48.2	169.2
三重県	81,947	-5.2	-14.2	49,948	-27.0	13.3	31,999	77.2	-70.7
滋賀県	37,228	-19.2	24.9	16,981	-25.5	55.6	20,247	-13.0	-10.3
京都府	220,290	11.0	10.3	190,501	37.4	11.0	29,788	-50.2	7.8
大阪府	348,947	15.6	8.2	288,436	24.1	21.5	60,511	-13.0	-32.9
兵庫県	214,105	16.5	-10.5	165,844	15.7	-8.8	48,261	19.3	-15.3
奈良県	50,547	26.0	-15.1	40,778	35.0	-40.6	9,770	-1.2	78.7
和歌山県	75,973	228.1	-6.2	71,210	289.7	-5.0	4,763	-2.4	-12.8
鳥取県	29,448	-5.0	10.8	25,238	5.4	28.7	4,210	-40.4	-62.2
徳島県	18,542	-60.0	-50.5	13,420	-65.4	-36.0	5,123	-32.1	-82.9
関西2府8県	1,133,133	12.4	-1.6	910,095	21.2	5.0	223,038	-13.1	-21.4

出所:観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表3 2024年1月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2024年	伸率(%)	2019年	2024年	伸率(%)
	1月	1月		1月	1月	
総数	2,689,339	2,688,100	0.0	2,689,339	2,688,100	0.0
総数(中国除く)	1,934,918	2,272,200	17.4	1,934,918	2,272,200	17.4
韓国	779,383	857,000	10.0	779,383	857,000	10.0
中国	754,421	415,900	-44.9	754,421	415,900	-44.9
台湾	387,498	492,300	27.0	387,498	492,300	27.0
香港	154,292	186,300	20.7	154,292	186,300	20.7
タイ	92,649	90,600	-2.2	92,649	90,600	-2.2
シンガポール	22,676	34,100	50.4	22,676	34,100	50.4
マレーシア	31,399	32,100	2.2	31,399	32,100	2.2
インドネシア	32,477	41,300	27.2	32,477	41,300	27.2
フィリピン	35,987	56,800	57.8	35,987	56,800	57.8
ベトナム	35,375	44,600	26.1	35,375	44,600	26.1
インド	12,468	12,600	1.1	12,468	12,600	1.1
豪州	81,063	103,600	27.8	81,063	103,600	27.8
米国	103,191	131,800	27.7	103,191	131,800	27.7
カナダ	22,293	31,700	42.2	22,293	31,700	42.2
メキシコ	3,615	6,800	88.1	3,615	6,800	88.1
英国	21,554	19,800	-8.1	21,554	19,800	-8.1
フランス	15,320	14,400	-6.0	15,320	14,400	-6.0
ドイツ	11,358	10,400	-8.4	11,358	10,400	-8.4
イタリア	6,033	6,900	14.4	6,033	6,900	14.4
スペイン	4,382	4,800	9.5	4,382	4,800	9.5
ロシア	6,316	3,200	-49.3	6,316	3,200	-49.3
北欧地域	8,465	7,400	-12.6	8,465	7,400	-12.6
中東地域	3,936	5,900	49.9	3,936	5,900	49.9
その他	63,188	77,800	23.1	63,188	77,800	23.1

表4 2023年11月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)
	11月	11月		11月	11月		11月	11月		11月	11月	
総数	2,441,274	2,440,890	0.0	2,145,425	2,206,883	2.9	171,723	116,855	-32.0	124,126	117,152	-5.6
韓国	205,042	649,877	216.9	164,558	620,231	276.9	24,167	18,284	-24.3	16,317	11,362	-30.4
中国	750,951	258,343	-65.6	676,675	204,486	-69.8	36,519	24,390	-33.2	37,757	29,467	-22.0
台湾	392,102	403,498	2.9	374,926	390,623	4.2	11,285	8,685	-23.0	5,891	4,190	-28.9
香港	199,702	200,428	0.4	194,857	197,019	1.1	3,610	2,143	-40.6	1,235	1,266	2.5
タイ	140,265	114,108	-18.6	134,178	109,826	-18.1	3,700	2,347	-36.6	2,387	1,935	-18.9
シンガポール	65,295	86,052	31.8	61,188	83,622	36.7	3,749	2,182	-41.8	358	248	-30.7
マレーシア	64,987	51,386	-20.9	61,118	49,095	-19.7	3,041	1,615	-46.9	828	676	-18.4
インドネシア	37,213	42,135	13.2	30,129	33,422	10.9	3,538	1,940	-45.2	3,546	6,773	91.0
フィリピン	64,763	63,718	-1.6	57,552	54,292	-5.7	2,910	5,070	74.2	4,301	4,356	1.3
ベトナム	41,892	46,793	11.7	18,580	20,456	10.1	4,443	4,127	-7.1	18,869	22,210	17.7
インド	14,863	16,553	11.4	5,855	9,793	67.3	6,190	4,185	-32.4	2,818	2,575	-8.6
豪州	48,327	59,571	23.3	42,991	55,517	29.1	3,521	2,346	-33.4	1,815	1,708	-5.9
米国	148,993	184,769	24.0	123,839	169,383	36.8	20,448	11,744	-42.6	4,706	3,642	-22.6
カナダ	33,316	38,959	16.9	29,873	36,993	23.8	2,462	1,277	-48.1	981	689	-29.8
メキシコ	6,494	9,859	51.8	5,858	9,372	60.0	484	331	-31.6	152	156	2.6
英国	37,709	29,509	-21.7	30,045	24,376	-18.9	5,894	3,671	-37.7	1,770	1,462	-17.4
フランス	24,290	24,182	-0.4	18,391	20,358	10.7	4,510	2,701	-40.1	1,389	1,123	-19.2
ドイツ	19,525	18,629	-4.6	12,361	14,090	14.0	6,078	3,649	-40.0	1,086	890	-18.0
イタリア	12,350	13,379	8.3	9,282	11,402	22.8	2,557	1,589	-37.9	511	388	-24.1
ロシア	13,142	5,914	-55.0	9,282	4,658	-49.8	3,012	933	-69.0	848	323	-61.9
スペイン	10,535	11,007	4.5	9,128	10,024	9.8	1,027	681	-33.7	380	302	-20.5
中東地域	9,836	7,952	-19.2	7,970	6,840	-14.2	1,372	745	-45.7	494	367	-25.7
その他	99,682	104,269	4.6	66,789	71,005	6.3	17,206	12,220	-29.0	15,687	21,044	34.1

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2 注参照。
出所: 日本政府観光局(JNTO)、2024年2月21日付より筆者加工